

H. N. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

中学、高校在籍中に、それぞれ 2 週間ほどでしたがオーストラリアとアメリカに短期留学をしていました。その他にも英語でのスピーチコンテストへの参加や留学生のホームステイの受け入れなど、大学入学前から英語に関わるイベントに積極的に参加してきました。そのため、大学でも必ず留学する！と大学入学時から協定大学留学を志しており、自主的に英語学習を進めていました。留学先としてイギリスを選んだのは、イギリス英語の発音がとても好きで身に着けたかったこと、そして大学 3 年時にイギリス人の素晴らしい友人ができたことが影響しています。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

協定大学留学合格のためには IELTS か TOEFL のスコアが必要だったので、私は IELTS 対策を参考書で行っていました。私は先輩からすすめていただいた「IELTS 徹底対策テキスト&問題集 ナツメ社」を使用していましたが、2015 年に初版が発行されたものだからか、現在読み返すと Writing や Speaking の例題がやや古いテーマが多いと感じます。（例えば「この先オンラインショッピングは普及すると思いますか。」など）そのため、最新の他の IELTS 対策本の方を使用した方が、現代の風潮に合ったトピックで練習できるのではないかと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

私は初めての長期留学で不安でしたので、ビザ申請手続きは専門業者（JACC 渡航センター）に依頼しました。担当の方の対応も迅速かつ正確で、さらに良心的な値段で請け負ってくださるのでとてもおすすめです。

次に語学勉強についてですが、上記した IELTS 対策本での学習に加え、私は AES A クラスに在籍していたので、そのクラスのための学習が留学のための英語能力向上にとっても役に立ったと考えます。AES の課題は簡単ではなく、毎週泣きながらこなしていましたが、今思い返すと、あの時死に物狂いで努力してよかったなと思っています。忍耐強くご指導してくださり、留学前もそして帰国後もサポートしてくださっている崎先生と Medlock 先生には感謝してもしきれません。

④ 現地到着後

私は関西国際空港から Manchester 空港までのルートで向かい、Manchester 空港からは University of Leeds までの大学の送迎バスが出ていました。ですが、この送迎サービスはどうやらコロナ禍で公共交通機関での感染拡大を避けるために取り入れられていたものの

ようで、もしかしたら今後は廃止されるかもしれません。もし Manchester 空港から公共交通機関を使用する場合は、Manchester から Leeds まで何本も長距離バスがでていますので、それを利用すると思います。（安いものは片道 7 ポンドくらいです。）

また、大学開始前の 1 週間がオリエンテーション期間となっており、サークル（society と呼ばれています）の紹介ブースが校内に並びお祭りのような盛り上がりとなるので、ぜひ行ってみると魅力的なサークルが見つかると思います。

⑤ 語学研修期間

語学研修期間はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

学生用のラウンジやスーパー、カフェ、ジムなど様々な施設が揃っており、とても便利で広大なキャンパスです。大学内が一つの町のように感じます。校内には野生のウサギやリスがいたる所にいるので毎日癒されていました。

◆ 履修科目

同女と同じように講義が始まってから 1 週間もしくは 2 週間（学部により異なります）が履修登録修正期間となっています。修正する場合は大学ホームページ記載の URL からフォームに入力し科目変更の手続きをします。

・ PSYC1618 Psychology in the Media

メディアがどのように科学研究のプログラムに影響を与えるか、メディアの表現によって世論がどのように変化するか、そして心理学がどのようにメディアの強い関心によって道を切り開き、その強い科学的基盤を確保してきたかについて

成績評価方法：オンラインのテスト

・ FLTU1805 Beginners Spanish

初心者向けのスペイン語の授業。先生はスペイン語しか使わず、他のヨーロッパ出身の生徒たちはもともと少しは理解できる人が多かったのについていくのが大変でしたが、会話練習が多いので友人もでき楽しい授業でした。

成績評価方法:Speaking, Listening, Writing, Reading すべてのテスト

・ FOOD1010 Food: Origins and Form

栄養学などを学ぶ学生のための入門の授業ですが、あらゆる学部の学生を対象に開講されていました。食品の歴史から現在の食のトレンドまで、チーズやヨーグルトなどの食品の製造の基本原則から、なぜ果物は熟し、野菜は熟さないのかについての理解まで、私たちを取り巻く食品の話でとても面白かったです。

成績評価方法：オンラインのテスト、時間制限ありの期末レポート課題

・ **MODL1161 An Introduction to Thinking Interculturally**

ゼミでの学習内容と類似しており、興味がある分野なので履修しました。異文化理解やカルチャーショックについての講義で、グループディスカッションが多く一人ひとり意見を言う自主性が求められるため、発言する練習になりました。

成績評価方法：2 回の期末レポート課題

・ **EAST3350 Japanese Cinema in the World**

1930 年代から現在までの日本映画の主要な監督とジャンルをその社会的・文化的歴史の中に位置づけながら分析しました。講義で 1 時間、少人数のクラスで発表する時間が 1 時間と、週に 2 時間ありました。

成績評価方法：17 分の PowerPoint 発表と期末レポート課題

・ **HPSC1015 Magic, Science and Religion**

自然・超自然の概念の豊かな相互作用を説明するために、伝統的な宗教・科学の考えと、占星術、錬金術、自然魔術などについて考察する講義。宗教と科学の歴史のような講義内容だと思っていたのですが、哲学なども絡み想像以上に難しい講義でした。

成績評価方法：2 つの期末レポート課題

・ **COLO1070 The Art and Science of Photography and Imaging**

従来のフィルム写真とデジタルイメージングを理解するための講義。画像の取り込みと画像形成を決定する基本的な科学と、重要な芸術的側面が紹介されました。この授業は完全オンラインでした。

成績評価方法：2 回のテスト

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

私はサークルとして Japanese society に参加していました。Japanese というタイトルですが、日本人と日本語を学びたい海外の学生が半分ずつ参加しているので、サークルのイベントでもほとんど英語で話していました。日本に興味がある方々ばかりなので友人も作りやすいと思います。（入会はしませんでした。他のサークルの新歓イベントにもよく参加していました。）

また、日本語学習クラスにもボランティアとして数回参加しました。授業の後はそのメンバーでパブに行って言語学習の大変さについて語り合った思い出があります。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

私が寮に申し込んだときには、University accommodation に空きがなかったようで、大学の方が紹介してくださった業者の寮に住んでいました。大学から徒歩 5 分以内で自分のキッチン、バスルーム付きの一人部屋にもかかわらず、他の大学寮（キッチン、バスルーム共用）と同じくらいの家賃だったのでとても満足しています。私以外は大学院生が住んで

いたので、とても静かで落ち着いた寮でした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

友人とイギリス中を旅行しました。最も安い交通手段やホテルを使う旅でしたが、それによって起きたトラブルや素敵な出来事もすべてが良い思い出です。また、ロンドン近くに住む友人の家に長期休暇の度に 1 週間程度滞在していました。ご家族にもよくしていただき、私のイギリスでの家のように感じています。この友人とそのご家族との過ごした時間があるからこそ、こんなにイギリスが大好きになったのかなと思っています。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学中はしていませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

帰国まで本当にあっという間でした…。信頼できる大好きな友人たちとほぼ毎日一緒に過ごし、日本に帰らなければいけないという事実が信じられなかったです。全ての瞬間がとても素晴らしい経験で、1 秒 1 秒を噛み締めて過ごしていました。

最も思い出に残っていることは友人とその家族と一緒に、Easter holiday に Wales まで出かけたことです。彼らは Wales に別荘を持っており、数日間そこに滞在しました。ロンドン近くからは車で約 5 時間かかる長旅でしたが、その時間もみんなで歌い外の景色を楽しみながらドライブした時間は夢のようでした。Wales ではほとんどビーチにしか行きませんでした。友人とその家族とビーチで駆けまわったり、ただ座っておしゃべりする日々は本当に幸せなものでした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

やはり自分の英語力について思い悩みました。日によって「今日は英語がスラスラ出てくる！」という日もあれば、「今日は全然話せない…。」という日もあり、それに合わせて気持ちがとても苦しくなることが何度もありました。本当に落ち込んでしまった時には、よく友人と「外国で第二言語で話そうと努力して、分からないながら授業にも参加するなんて、私たち本当にすごい。イギリスで息吸って生きているだけで偉い。」と言ひ、なんとか自分たちを励まし合いながら乗り越えました。彼女とは今も大親友で、留学を終えた今も頻りに連絡を取り合いながら、お互い英語学習を頑張っています。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

イギリスで過ごす学生たちは月曜日だろうが金曜日だろうが関係なく、お酒を片手にとにかく夜通しパーティーをしたりクラブに行ったりします。イギリス人は特にそれが激しいのですが、その次の日には何食わぬ顔で授業に参加しているので彼らはいつ寝ているんだ

ろう、と驚きました。よく誰かが酔っぱらった時にどこからか持ってきた交通整理の赤いコーンが、寮のフラットにたくさん転がっていることがあり、「元の場所に戻してきなさい！」という張り紙がエレベーターに貼ってあったのはお腹を抱えて笑った記憶があります。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、留学生へのサポートが充実しているところです。日本人留学生は現地の日本人の教授が必ず一人はサポーターとして付いてくださるので、履修登録や手続き等で困った際に相談できる相手がいるのは心強かったです。留学生に向けた交流のイベントも一年を通して行われており、私はそこでたくさんの友人と出会いました。留学生のことをよく考えてくれる良い大学だと常日頃感じていました。

悪かった点を強いて言うなら、やはり食事でしょうか。ロンドンのチャイニーズタウンなどにはとても美味しい日本の料理が食べられるお店がたくさんありますが、Leeds のレストランで提供される日本食にはあまり期待しない方が良いでしょう。ですが、クオリティの高い中華、タイ料理やインド料理を楽しめる場所は Leeds 市内に複数あり様々な国の料理に挑戦するのはとても良い経験でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必ず持参してください！講義の資料はネット上で配布され、紙媒体で渡されることはないのです、パソコンが無かったら何もできないと思います。

日本や韓国の化粧品が好き！というような方でしたら、1 年分買って持っていくことをお勧めします。イギリスからオンラインで買ってみようと一度試みたのですが、Shipping fee に加え、あまりの値段の違いに驚き断念しました。イギリスではアジアの化粧品を買うことはなかなか難しいと思います。

また、シャンプー、リンス、洗剤などは持って行っても使い物にならないと思いますので気を付けてください。イギリスでは硬水なので、その水に合った製品でないと泡立たなかったり期待する効果が出なかったりします。私はお気に入りのヘアクリームを持って行っただけですが、硬水でのシャワーにより髪が質が変わり、さらにイギリスの気候のせいかヘアクリームがベトベトしてしまい結局使いませんでした。

現地の薬局でもたくさんの種類のシャンプー、洗剤等が売っていますので、日本から行く際は自分の重量分を、配る用の日本のお菓子などに使う方がよいのではと思います😊

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

Listening 能力が格段に上がりました！留学が始まってすぐの頃は、慣れないイギリス英語

に戸惑い、全く話が聞き取れない自分を責めていましたが、だんだんと少しずつ知らないうちに理解できるようになっていきました。Speaking に関しても、留学初日に会った友人には、会うたびに「どんどんうまくなっているね！」と褒めてもらい嬉しさにニマニマしていました！Speaking の向上は自分では分かりづらいと思うので、友人に言ってもらえると自信がついてより話せるようになったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

この留学でひしひしと感じたのは「語学能力は他人と比較してはいけない。」ということです。ネイティブと比べるのはもちろん、留学生であっても以前英語圏に住んでいたことのある人やインターナショナルスクールに通っていた人など、全員がそれぞれ異なるバックグラウンドを持っており、それにより語学力に違いがあるのは当然のことです。また、例えば言語が完璧でなかったとしても、その人自身の持ち前の明るさや優しさに周囲の人は必ず気づいてくれると思います。これから留学を考えているみなさんも自らの英語力に悩むことがあると思いますが、どうか誰かと比べるのではなく、昨日の自分より成長している！と考えて楽しく英語と向き合ってみてください。皆さんの留学を心から応援しています😊

IV. 将来の目標

卒業後は大学院への進学を希望しています。とても狭き門ですが、合格できるよう日々精進しております。

V. 写真



友人の寮で誕生日パーティーに参加した時の写真です。なんと、ほとんどの人が誕生日の方に会ったことがないのにこのパーティーに来ており（私も）、ただみんなではしゃいだ

だけでしたが、その状況も含めてとても面白かったです。



今度は私が友人の誕生日パーティーの主催者となり、サプライズで彼女の寮に、大きなケーキとみんなと一緒に突撃した時の写真です。この大人数に事前に連絡を取り、さらに飾りやケーキや色紙等の用意をするのはとても大変でしたが、当日はみんなが本当に喜んでくれ思わず涙が溢れました。



これは Ball（アメリカでいうプロムのようなもの）に参加する前に、友人たちと一緒にドレスアップした時の写真です。3人で舞い上がりすぎて結局少しだけ Ball に遅刻してしまいましたが、それも可愛い思い出ではないかなと思います。一緒にいて心地よくて輝くようなパーソナリティを持つ彼女たちが大好きです。